2022年11月19日　図書館総合展

バイリンガル絵本を図書館に

多言語絵本の会RAINBOW
石原弘子

https://www.rainbow-ehon.com/

自己紹介

10 年間、子どもの本と図書館づくりにかかわり、10 年間、保育所や子どもの本の専門店、一般企業で働き、30 年間、日本語ボランティアにかかわり、そのうちの半分くらいは多言語絵本制作にかかわってきました。

「私のことばは、日本では必要ない」

なぜ、このようなことをしているかというと、2003 年、国際結婚をしているお母さんが、「私のことばは、日本では必要ない」と言ったからです。当時、にほんごの会くれよんという子ども連れが参加できるグループをやっていて、10 人くらい子どもさん連れが参加していました。欧米のお母さんは、日本語、英語、自分の国の言語の 3 か国ぐらいで子育てしているのに、アジア、アフリカからのお母さんたちは、日本語だけで育てているんです。ある時、どうして、自分の国の言葉で子育てしないんですかと聞くと、「私の言葉は、日本では必要ないんです。だれが、私の国の言葉がわかるんですか」と言われました。そのようなことを言わなければならない社会はおかしいと思いましたが、その時は、なにもできませんでした。

図書館で多言語よみきかせ

2006 年、図書館で多言語の読み聞かせを始めました。同じ絵本を見せて、外国語と日本語の交互よみです。国際結婚をしているお母さんたちが主人公になれる場は図書館だと思ったのです。

「すごいよ　ねずみくん」

2009 年、目黒区が子ども条例をだれでもわかるようにと、区内に住んでいる絵本作家のきむらゆういち氏に依頼して、「すごいよ　ねずみくん」という絵本を発刊しました。

目黒区子ども条例のえほん
「すごいよ　ねずみくん」

２００９年発行

いつもボクってダメなやつと思っている
ねずみくんが、ある日、ねずみくんだから、
友だちを助けることができ、みんなから、
「すごいよ　ねずみくん」と言われるという
うお話です。

作：きむらゆういち氏

現在：13言語で、マルチメディア・
デイジー形式の作品がある

すぐに、いくつかの言語に翻訳し、音声化しました。それで、どうしたらよいのかと思っていたら、ディスレクシアの読書支援であるマルチメディア・デイジーという手法を教えてくれる人がいました。それで、作りました。すこし、聞いてください。

https://rainbow-ehon.pecori.jp/English_Nezumikun/

　読んでいるところがハイライトします。文字を大きくしたり、小さくしたり、早く読んだり、遅く読んだり、その人の読む力にあわせて、調節できるというものです。

多言語電子絵本文庫を図書館に寄贈
2020年

- 原作　12
- 言語　18
- 作品数　129
- 寄贈先の図書館数　８７２館
- 形式　ChattyBooks

マルチメディアデイジーをWeb上で視聴

協力
- NPO法人おおさかこども多文化センター
- NPO法人地球ことば村
- 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
- おむすびころりん愛知
- NPO法人にほんご豊岡あいうえお　など多数

この手法で作品が 200 ほどできたので、2020 年、図書館に寄贈しました。なぜ、図書館に寄贈したかというと、私は、図書館は、地域の人の言語を守らなければならないと考えているからです。図書館には、私の周りにいるアジアからの人たちの言語の本がありません。ほんとうは、作品をひとつずつ CD に入れて送りたかったのですが、コロナで封入作業ができなくなり、１枚の DVD に入れました。それで、続いて、昨年も贈りました。全部、日本語とのバイリンガル版です。

2021年、寄贈したDVDとCD

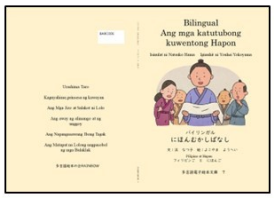
　でも、これは、図書館によっては迷惑だったようです。マルチメディア・デイジーは障碍者対応資料と位置付けられていて、多くのところで障害者資料として配架されました。そうすると、障碍

者であることの証明書がないと利用できないわけです。多くのところで、どのように分類するか決められない状態のようだと感じました。

　そうすると、日本語関係の方から、子どもにとっては電子絵本より、印刷物の方が手に取りやすいという声が寄せられました。それで、今年、日本昔話と「ごんぎつね・あめだま」を本にして出版しました。絵も文もプロの方によります。アマゾンから買えます。しかし編集力がなかったので、値段が高くなりました。それで、データだけで良いという方には、RAINBOW の HP からダウンロードできるようにしてあります。

「バイリンガル　にほんむかしばなし」

スペイン語



フィリピン語

インドネシア語

ポルトガル語

英語

韓国語

ネパール語

中国語

ベトナム語

「バイリンガル版　ごん狐・あめ玉」

スペイン語

フィリピン語

ベトナム語

ポルトガル語

英語

韓国語

インドネシア語

中国語

金の魚のはなし五言語合本

私は、バイリンガル絵本を図書館に置いてほしいです。

多言語絵本と多文化絵本

- 多言語絵本は
  1冊の絵本で、それが多言語で読める

- 多文化絵本は
  いろいろな国の文化を知るため
  『多文化に出会うブックガイド』　　読書工房刊

- 両方を兼ねている絵本
  外国語絵本の翻訳本

私は、多言語絵本と多文化絵本があると思っています。

「みんなうんち」は多言語絵本ですが、「しろいはうさぎ」や「ソリちゃんのチュソク」はオリジナルが韓国で、韓国文化を伝える多文化、多言語絵本だと思っています。

配架の例

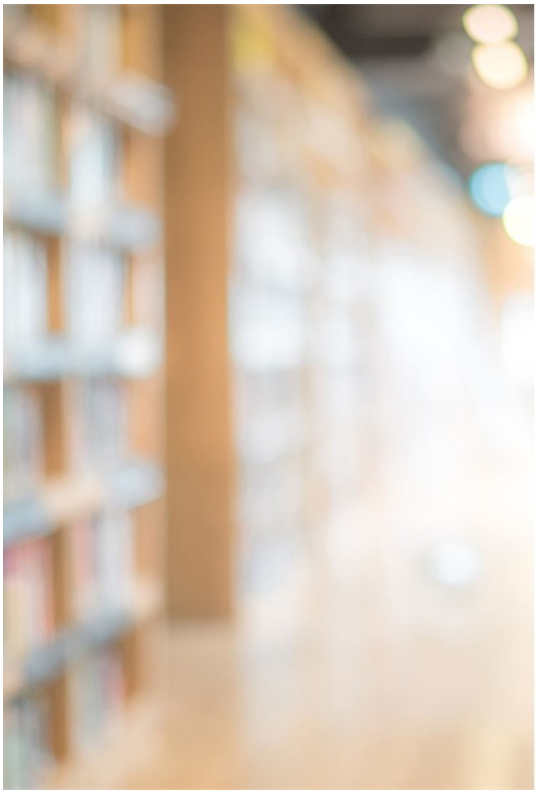
大阪市立浪速図書館

2020年12月
　多文化情報コーナー設置

2021年3月
　多言語絵本リスト公開
　　約750冊

多言語絵本の配架は、このようであってほしいです。外国語と日本語に分けて、外国語絵本を別のところに置いているところがあるが、同じところに並べてある方が使われやすいと思います。

そして、置いているだけではだめで、広報してほしいです。



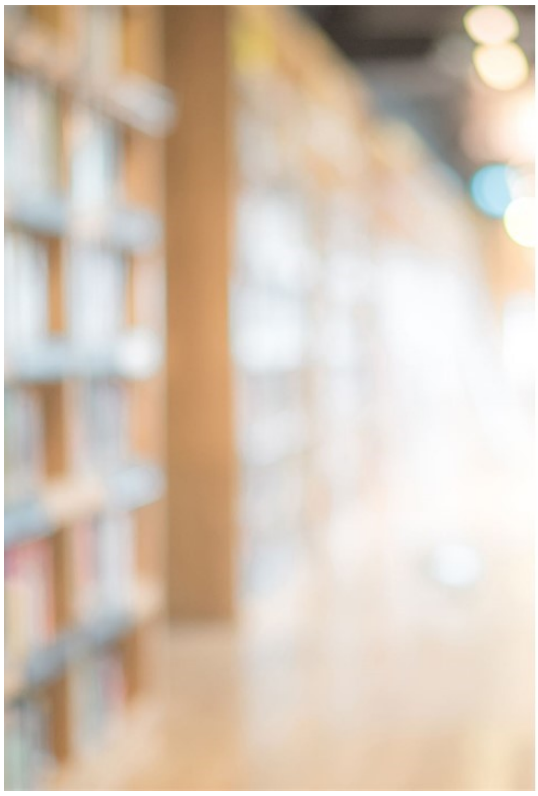
ポストの数ほど図書館を

『子どもの図書館』（石井桃子著　岩波新書　1965）

- 町の本屋さんが減ってきている
- 大型の図書館が増えてきている
　　大きな図書館は広すぎる
　　目的の書架まで遠い
- 図書館が利用しにくい人も、利用できるようにするために、地域の身近なところに図書館がほしい
　　高齢者
　　身体障碍者
　　小さい子ども
　　日本語が母語でない人など
　　遠くまで行くのが困難な人のために
- 図書館の存在をもっと広報してほしい

むかし、「ポストの数ほど図書館を」というキャッチコピーがありましたが、いままた、これが

必要なのではないかと思います。



ポストの数ほど図書館を

『子どもの図書館』（石井桃子著　岩波新書　1965）

電子図書館、予約本の自宅への配本、お買い物ついでに本を借りる、おしゃべりを楽しむ図書館

個人蔵書を貸し出す棚貸し

公立図書館と学校図書館の連携

団体貸し出しをPRして、各所に特色のある小さな図書室をつくる

図書館を利用しにくい人に利用してもらうために、いろいろと工夫されていますが、

公立図書館と学校図書館の連携や、

団体貸し出しを増やすなど、

身近なところで本が利用できるようになると良いのにと思っています。